

群馬菱の実会だより

「がんばってます・がんばりました」特集号

本号は、全員に
配付しています。

がんばりました!

日展入選までの道のり

神谷昭美

あらすじ:

- 会社を退任する2年前(1991年=平成13年)から東京新聞日曜油絵塾にて油絵の勉強を開始。
- 退任と同時に(1993年)に示現会絵画研究所へ入会し写実油絵の勉強を開始。
- 97年～2000年まで台湾で仕事のため示現会は中断。独学勉強を継続。
- 2000年10月に帰国後、01年から示現会展へ出展開始。同時に日展入選をも狙う。
- 2004年(平成16年)第36回日展へ初応募し落選。以後途中放棄も含め、2011年(平成22年)までに7回連続落選。
- 2004年示現会会友に推される。 ○ 2004年日展落選作品を東京都展へ出品し特選を獲得。
- 2008年示現会展において佳作を獲得。(中電へ寄贈) ○ 2009年示現会準会員に推される。
- 2011年示現会展に於いて「画室のモデル」が示現会奨励賞を獲得。(馬電へ寄贈)
- 2011年第43回日展に応募した「ポーズの合間」が日展初入選。26室中第8室に陳列される。
(本社へ寄贈)



第43回日展(2011)

ポーズの合間 神谷昭美

本紙を菱の実ホームページでご覧のnet読者の方は、左のURLをクリックすると、別の頁が開き、大きいサイズでご覧頂けます。ぜひホームページでご鑑賞下さい。

<http://www.18.ocn.ne.jp/~hishimig/kamiya-niten.htm>

あらすじに書きましたように、油絵の勉強を始めてから丁度20年目にしてやっと日展入選を果たすことになります。油絵絵描きにとって「日展」入選は 登龍門でもあり憧れの的なんです。私が所属する社団法人「示現会」は 油絵研究団体の一つで、ほかにももっとも大きな団体「白日会」「光風会」など100を超える団体がありますが、ほとんどすべての団体が 自分の所属団体から何人の「日展入選者」を出すかを競っておるのです。(中にはアンチ日展の団体もあると聞いてはおりますが)

ですから、毎年日展が近づくと 各団体ともに「日展研究会」などと称して所属団体メンバーの応募作品の下見会を催して、夫々の会の会長はじめ長老の先輩画家が集まり 後輩の作品について評論、助言を行い「日展入選率」を高めるように努力をしております。

しかし、こうした努力にも拘らず 入選者数を増加させることはなかなか困難なことで、今年は何人入ったか、誰が落ちたのかなどとうわさをし合うのが通例です。

私も平成16年から日展へ応募を始めましたが 22年までは連続落選で、ほとんど応募するのがいやになることもありました。しかし、気を取り直し、先輩の失敗回数なども聞かされて駄馬に鞭打ち、とうとう8回目の挑戦までたどり着き、8回目になると夢に見た「日展」初入選を手に入れることが出来たのです。ほんとに嬉しいと思っております。

<次ページへ>